



「現代女性の『不調』、どう対処する？」 ウィメンズ・ヘルス・アクション シンポジウムin名古屋

ウィメンズ・ヘルス・アクション実行委員会は、国や自治体、医療・教育の現場や職場・家庭・地域など全てが一丸となって、現代日本における女性の健康推進の必要性とその課題について考えるための取り組みを行っている、今年で結成3年目の団体。これまで東京、大阪とシンポジウムを行っていたが、今回初めて名古屋で開催することとなった。

「現代女性の『不調』、どう対処する？」と題した当会は、女性ホルモンの変動によって起こる「PMS(月経前症候群)」や「子宮内膜症」などの症状にどう対応するか、治療の最前線や労働現場での対応を紹介しながら、女性医学の権威とともに対処法を考えるという内容。女性を中心に約200人が来場し、熱心に耳を傾けていた。

2018年11月10日付 載録
中日新聞朝刊・東京新聞朝刊
北陸中日新聞朝刊



■主催
ウィメンズ・ヘルス・アクション実行委員会
中日新聞社



▲パネルディスカッションの様子



▲協賛会社によるブース出店

【来場者属性】
女性9割
40～50代7割
主婦・パート5割

■協賛会社
特別協賛: あすか製薬株式会社
ゼリア新薬工業株式会社
武田薬品工業株式会社
一般協賛: コニカミノルタ株式会社、株式会社ツムラ
サポーター協賛: バイエル薬品株式会社

私たちは「ウィメンズ・ヘルス・アクション」の活動を応援しています。

不妊治療の専門家によるセミナーを全国で開催

あすか製薬株式会社
https://www.asuka-pharma.co.jp

生理前のつらい症状 PMSに、西洋ハーブの力。

ゼリア新薬工業株式会社
http://www.zeria.co.jp

「リボンマジック」(健康支援サービス)を一斉に実施

武田薬品工業株式会社
https://www.takeda.com/jp/jp/

〈読者の声〉

- ・各製薬会社や女性団体が連携して健やかな生活へのアシストを支援する動きはとても賛同できる。(男性29歳以下)
- ・キャッチコピーに目がいきます。ピンク色を基調とした色使いで女性好みに構成してある感じがします。(男性30代)
- ・これから男性にも理解してもらうために掲載してほしいと思いました。(女性40代)
- ・女性の健康についての問題は大事だと思った。健康でありたいという気持ちは強くなった。(女性50代)

